

# 2021 年度事業報告書

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

2020 年度初頭から続く新型コロナウイルス感染拡大により、協会活動は大きな変化を迫られた。そんな中 2021 年度は、前年度以上にオンラインの更なる活用等新しい方法を創意工夫／模索し、各委員会での新しい様式を確立しつつ活発な活動を継続した。

---

## 1. ポストプロダクションを中心とした映像・音響に関する調査研究事業

(定款第 4 条 1 号関連)

### (1) 企業実態動向調査

毎年行っているポストプロダクションにおける売上動向、設備投資関連、従業員数等の実態動向調査を実施し、資料の蓄積を行った。アンケート結果の収集、分析を行い、前年同様、経年変化のデータを作成し、業界の実態動向の把握に努めた。

### (2) 機材設備調査

ポストプロダクション業界における映像・音響設備状況把握のための調査を実施した。その結果を、協会発でプレスリリースするとともに、会員社内で共有した。

### (3) ポストプロダクション技術に関する調査研究

ポストプロダクション業務に関わる技術要件調査、ヒアリング、情報交換、放送局や他団体との窓口となる業務を行い、会員社への情報フィードバックを行った。

---

## 2. ポストプロダクションを中心とした映像・音響に関するセミナー等の開催事業

(定款第 4 条 2 号関連)

### (1) 技術者向け各種セミナーの開催

①映像系基礎技術の習得を目的とし、業務に有益となるテーマを設定し各種技術セミナーや勉強会をオンライン開催した

②音響系技術のスキル向上を目的とした各種セミナーや勉強会を、賛助会員社等の協力を得てオンライン開催した。オンライン開催という利便性を活かし数多くのセミナーや勉強会を開催し、東京以外の会員も多数参加できた。

③映像系・音響系技術者を対象とした合同研修会を企画したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、開催を中止した。

### (2) 経営者向けセミナーの開催

①経営者及び管理職等を対象とし、「サイバーリスクマネジメント」ならびに「コロナ禍におけるメンタルヘルス」をテーマとしたセミナーをオンライン開催した。

②経営者及び管理職を対象とし、経営に関わるセミナーを含む宿泊研修会を企画したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、開催を中止した。

### (3) 営業実務者向けセミナーの開催

営業関連社員等を対象とした営業実践講座を、オンライン開催した。

### (4) 営業実務者向け研修会の開催

営業職向けの技術基礎知識の習得を目的とした研修会を企画したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、開催を中止した。

(5) 支部企画のセミナー等の開催

関西支部において、独自の「技術セミナー」「総務セミナー」をオンライン開催した。九州支部においては、九州放送機器展開催中止に伴い、機器展会場内におけるセミナーは中止したが、機器展の名称を冠した技術セミナーをオンライン開催した。

(6) 東京開催セミナーの地方支部への配信

例年、東京にて開催するセミナーを関西支部／九州支部へ配信することに努めているが、2021年度の主なセミナーはオンライン開催であったため、すべてのセミナーについて全国からの参加が可能であった。

---

### 3. ポストプロダクションを中心とした映像・音響に関する情報の収集及び提供

(定款第4条3号関連)

(1) 協会機関誌の発行

機関誌「JPPA レポート」を毎月発行し、協会推進事業の内外への周知、最新技術動向の情報収集と紹介、海外の映像・音響技術動向の情報を収集の上会員に紹介し、会員との連携を密にした。また、賛助会員紹介ページの充実を図った。

(2) JPPA 通信（メールマガジン）にて会員各社に、技術情報や各種イベント情報等の提供を行った。

(3) 「ポストプロダクション技術マニュアル第9版」の発行に向け、項目の見直し、必要情報の追加・更新等の改訂作業を行った。発刊は、2023年1月予定。

(4) NAB 視察ツアーの企画

ポストプロダクション周辺機器／システム等、情報の収集と関連企業の視察を目的とした「JPPA NAB 2021 視察ツアー」を実施予定であったが、感染防止の観点から中止とした。また、「NAB SHOW 2022 視察ツアー」企画についても、同様の理由で中止とした。

---

### 4. ポストプロダクションを中心とした映像・音響に関する展示会等の開催事業

(定款第4条4号関連)

(1) 九州放送機器展の開催

九州及び周辺地域における放送関連事業者の利便性に資するために、賛助会員社並びに放送機器メーカー・販売社等の協力を得て、業界向放送機器／システム等に関する展示会「九州放送機器展 2021」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とした。また、「九州放送機器展 2022」については、感染防止に最大の配慮をしながら開催することを決定し、2022年7月開催に向けた準備を行った。

(2) 日本エレクトロニクスショー協会と連携し、「Inter BEE Creative」において正会員社によるセッションやブース展示等を例年行っているが、2021年度は、協会としての展示を見送った。

---

5. **ポストプロダクションを中心とした映像・音響に関するアワードの開催事業**  
(定款第4条5号関連)

(1) 「JPPA AWARDS」推進事業

ポストプロダクション技術の向上、人材育成、技術者の地位向上を図ることを目的とし、「第25回 JPPA AWARDS」を実施した。贈賞式については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、従来の式次第ではなく、受賞会社1社ごとの入れ替え制とし、受賞者と関係者に人数を制限した中で開催した。また、「第26回 JPPA AWARDS」の実施準備を行った。

---

6. **ポストプロダクションを中心とした映像・音響に関する映像音響処理技術者資格認定制度の開催事業**  
(定款第4条6号関連)

(1) 映像音響処理技術者資格認定制度の推進

ポストプロダクション技術の向上、人材育成の一環として全国の大学、映像音響技術系専門学校、社会人等を対象とした「第23回映像音響処理技術者資格認定試験」の準備を行った。新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら全国41会場で試験を実施した。また、第24回試験実施に向け、試験問題集作成等の準備を行った。

---

7. **ポストプロダクションを中心とした映像・音響に関する内外関係機関等との交流及び協力事業**  
(定款第4条7号関連)

(1) 日本民間放送連盟の素材搬入基準等、各種技術要件に関し、他団体からの意見照会等に応じ、各委員会にて意見書作成等を行い提出した。

(2) 総務省事業「放送コンテンツ制作取引における相談・紛争解決促進の在り方に関する調査研究」における個別ヒアリング等に協力した。

(3) 国内関係機関との交流

ACC、電波産業会 (ARIB)、全日本テレビ番組製作者連盟 (ATP)、日本広告業協会 (JAAA)、映像文化製作者連盟 (JAAP)、日本アド・コンテンツ制作協会 (JAC)、日本音声製作者連盟 (JAPA)、日本音楽スタジオ協会 (JAPRS)、日本民間放送連盟 (JBA)、電子情報技術産業協会 (JEITA)、日本エレクトロニクスショー協会 (JESA)、日本映画・テレビ録音協会 (JSA)、日本映画・テレビ編集協会 (JSE)、日本映画テレビ技術協会 (MPTE)、映像産業振興機構 (VIPO)、特定ラジオマイク運用調整機構他、国内映像音響関連業界との交流、情報交換、催事への協力を行った。

(4) 海外関係機関との交流

NAB (National Association of Broadcasters)、AES (Audio Engineering Society) 等の海外映像音響関連団体との交流、情報交換を行った。

(5) 各種機器展示会、コンクール等への参加、協力、後援を行った。

---

## 8. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(定款第4条8号関連)

- (1) 会員学生のための業界研究セミナーの開催  
学生の仕事選びを支援することを目的として、「ポストプロダクション業界研究講座」をオンライン開催した。
- (2) ポストプロダクション合同企業説明会の開催  
賛助会員学校学生の就職活動ならびに正会員社の採用活動を支援することを目的とし、「ポストプロダクション合同企業説明会」を初企画しオンライン開催した。
- (3) インターンシップ事業の推進  
人材育成の一環として、ポストプロダクションにおけるインターンシップを企画したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、参加学生ならびに受け入れ企業の安全に配慮し中止とした。
- (4) 会員社における人材確保と、会員学校における就職活動支援を目的とし、協会ホームページに「会員各社採用情報へのリンク集」を掲載した。
- (5) 協会ホームページ内に「会員社最新情報」コーナーを設け、掲載を希望する会員社の情報を掲載し情報共有を図った。
- (6) 正会員社と賛助会員社同士が直接交流できるサービスとして、JPPA 会員マッチングネットワーク「ツナガル」をスタートさせ、希望される会員同士での交流を可能とした。
- (7) 正会員社および賛助会員社の若手スタッフを対象に、将来を見据えた成長と発展を考える場の提供を目的として、「若手・中堅スタッフ業界交流会」を開催した。新型コロナウイルス感染防止の観点から、「意見交換会」のみをオンライン開催し、例年行っている「懇親会」は中止とした。
- (8) テレビ番組系ポストプロダクションに特化した会合として、「テレビ番組分科会」をオンライン開催し、情報の共有を行った。
- (9) 賛助会員社と正会員社との連携を密にするための諸事業
  - ① 賛助会員社若手スタッフを対象としたポストプロダクションスタジオ見学会を企画したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とした。
  - ② 賛助会員社と正会員社との情報交換と親睦を目的としたゴルフコンペを、東京及び関西、九州にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、いずれも中止とした。

---

以上